

2023年4月29日

事務局 板垣

神戸大学ラグビー部 OB 会総会について

- (1) 日時 : 4月29日(土・祝) 14:00~16:00
(2) 場所 : 大阪凌霜倶楽部 会議室
(3) 式次第 : 司会)板垣
1) 亡くなったOBへの黙とう
2) 総会の成立確認
3) 田中会長挨拶
4) 議事討議
5) 商神斉唱
(4) 出席予定者 : 4/28時点で25名出席の回答あり
(5) 議案 :

	議案	説明者	資料
1	理事の選出【承認】	板垣	①
2	2022年度活動報告及び23年度活動方針【承認】	田中会長	②
3	現役チームの活動状況【報告】	磯江理事 小松理事	③ ④
4	東京支部活動状況【報告】	池内副会長	⑤
5	2022年度決算報告【承認】 芝生化事業収支報告【報告】	山形理事 田中会長	⑥ ⑦
6	2023年度予算案【承認】	板垣	⑧
7	創部100周年記念事業準備状況【報告】	坂下副会長	⑨
8	創部100周年事業寄付金募集の進捗状況【報告】	坂下副会長 藤井理事	⑩
9	OB会ホームページの運営【報告】	山入端理事	なし
10	事務局からのお知らせ	板垣	⑪

以上

OB会 23年度役員候補

①

*役員任期は22年度で満了の為、今般、選出となります。任期は23～24年度の2年間。

(1) 理事及び会計監事(敬称略) ☆=担当理事

会長	田中計久(S53卒)	芝生化推進委員長
副会長	池内 宏(S55卒)	東京支部長
副会長	坂下清信(S57卒)	100周年記念事業
理事	安中一雄(S32卒)	
理事	国沢健一(S40卒)	
理事	田畑芳彦(S43卒)	
理事 ☆	河野雄造(S52卒)	芝生化推進委員
理事 ☆	山形輝雄(S52卒)	会計・財務
理事 ☆	山入端邦男(S53卒)	広報・コミュニケーション
理事 ☆	磯江憲夫(S53卒)	現役チーム GM
理事 ☆	酒井亮一(S54卒)	旧神戸商船大OB窓口
理事 ☆	小松規秀(S54卒)	現役チーム強化支援
理事 ☆	板垣 毅(S55卒)	事務局長
理事 ☆	辻野智己(S56卒)	東京支部副支部長
理事 ☆	有明志郎(S57卒)	現役チーム後援会、三商大等他大学連携
理事 ☆	中本和夫(S57卒)	現役チーム強化支援
理事	天知吾郎(S57卒)	
理事 ☆	仁張正之(S58卒)	100周年事業担当
理事 ☆	向井孝博(S58卒)	100周年事業担当
理事 ☆	遠藤 勉(S60卒)	凌霜ラガー通信発行
理事 ☆	鬼丸省一(S62卒)	東京支部事務局長
理事 ☆	藤井貞男(S62卒)	100周年事業会計担当
理事 ☆	森岡礼次(H1卒)	現役チーム監督
理事	堀口祐司(H3卒)	
理事	堀 祐介(H7卒)	
理事	赤澤栄信(H11卒)	
理事	田口慎太郎(H17卒)	
会計監事	森内 敏晴(S56卒)	
副会計監事	植木 心一(S63卒)	

(2) 顧問(敬称略)

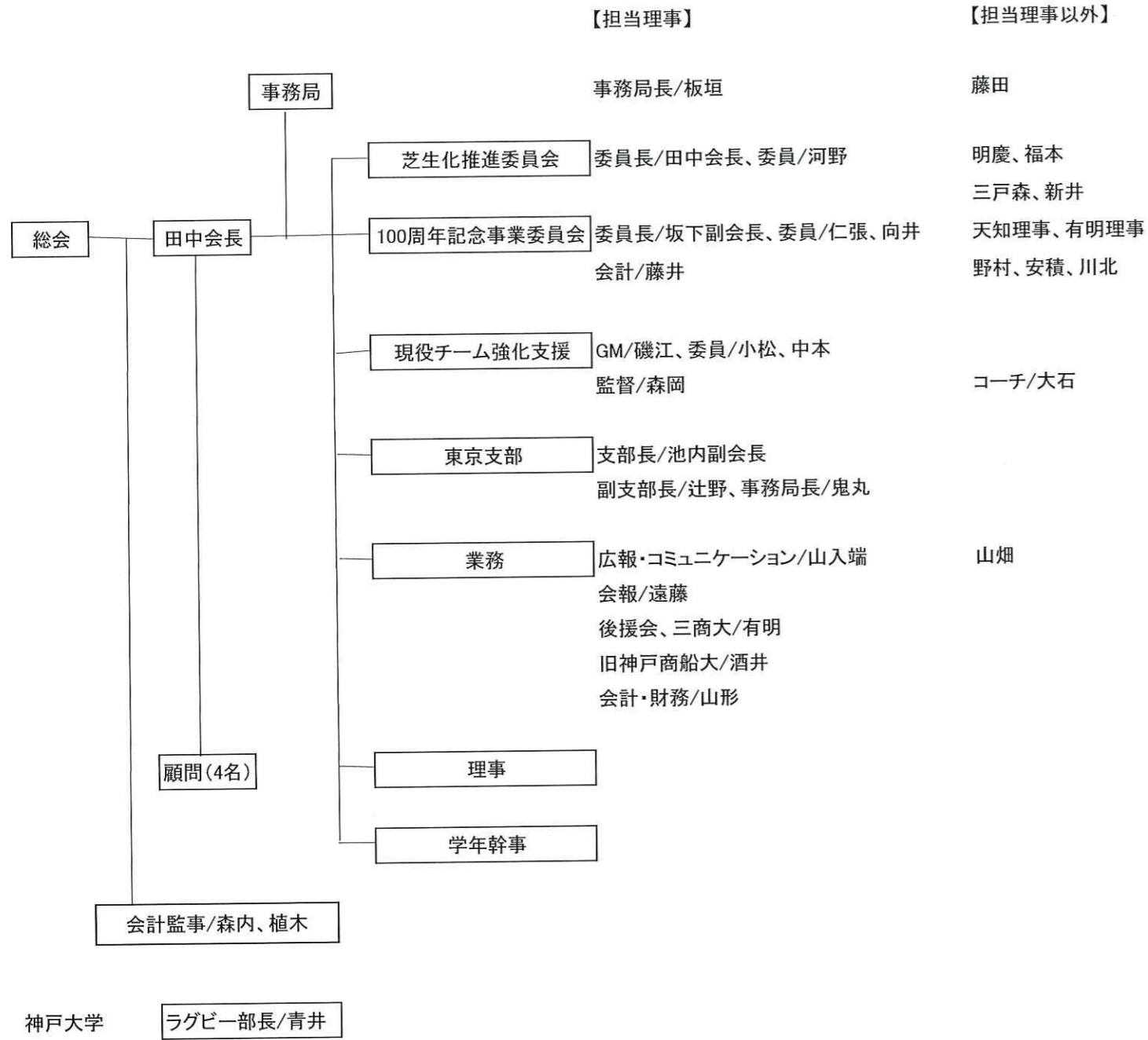
顧問	定兼 廣行(商船大)	子安 武(S29卒)
顧問	瀧川 好夫(元ラグビー一部部長)	平山 洋介(前ラグビー一部部長)

【参考】ラグビー一部部長(敬称略)

神戸大学医学部教授	青井 貴之(H8卒)
-----------	------------

神戸大学ラグビー部OB会 組織

* 2023/4/29時点(敬称略)



【参考】2023年度 学年幹事

S27 卒		H2 卒	吉田 圭吾
S29 卒	子安 武	H3 卒	堀口 祐司
S30 卒	名取 幸男	H4 卒	諏訪 正樹
S32 卒	安中 一雄	H5 卒	三宅 靖
S34 卒	野村 康治	H6 卒	湯地 努
S35 卒	多々見道雄	H7 卒	堀 祐介
S37 卒	平井 匠	H8 卒	辻 一典
S38 卒	竹添 修一	H9 卒	船越弘一郎
S39 卒	松下 忠男	H10 卒	光村 孝仁
S40 卒	国澤 健一	H11 卒	赤澤 栄信
S41 卒	松村 泰治	H12 卒	豊川 貴也
S42 卒	向井 勝	H13 卒	見先 俊弘
S43 卒	田畑 芳彦	H14 卒	古川 武
S44 卒	野中 克己	H15 卒	梶川 洋平
S45 卒	和田 博行	H16 卒	金田 芳典
S46 卒	鷹尾 昌弘	H17 卒	田口慎太郎
S47 卒	尾上 二郎	H18 卒	高橋 俊亮
S48 卒	阪下 喜治	H19 卒	桐生 宗明
S49 卒	田中 俊明	H20 卒	脇田 卓郎
S50 卒	森田 幸一	H21 卒	河合 祐二
S51 卒	松井 健	H22 卒	林 知志
S52 卒	木村 勇治	H23 卒	縄船 恭志
S53 卒	磯江 憲夫	H24 卒	元嶋 政太
S54 卒	小松 規秀	H25 卒	藁科 周平
S55 卒	杉本 文雄	H26 卒	福森伸太郎
S56 卒	森内 敏晴	H27 卒	森山 和貴
S57 卒	天知 吾郎	H28 卒	中原 宏介
S58 卒	仁張 正之	H29 卒	西田 貴洋
S59 卒	三森 啓章	H30 卒	中谷 駿太
S60 卒	森岡 秀文	H31 卒	中島 悠輔
S61 卒	向井 昌博	R2 卒	金田 亘平
S62 卒	岡田 功	R3 卒	三輪 侑史
S63 卒	福本 裕郁	R4 卒	山内 智大
H1 卒	石井 慎二	R5 卒	西 悠太

‘22年活動結果及び’23年度活動方針

1. ‘22年度活動結果

- (1) 創部100周年事業に向けての準備
 - ・ロッカー、クラブルーム等インフラ整備に向けての準備
 - ・寄付募集準備、趣意書発送（‘23/3～）
 - ・創部100周年記念式典・祝賀会準備
 - ・創部100周年記念誌発刊準備
- (2) 現役チーム強化支援
 - ・勧誘レター発送等の新入部員獲得活動支援
 - ・23年度シーズンに向けた強化支援
 - ・現役幹部とのコミュニケーション強化
 - ・深江グラウンド天然芝維持管理
 - 秋のリーグ戦はBリーグ残留
- (3) 年会費収入増に向けた取り組み
 - ・東京支部を中心とした平成年度OBへの働きかけ
 - ・前期年会費収入は350万円の大台に（‘18年度実績236万円）
- (4) 現役ホームページ（含むOB会）作成
- (5) OB会名簿更新（旧名簿は‘15年作成）
- (6) ラグビー部長（顧問教官）退官と後任指名
 - ・平山教授退官に伴い、医学部青井教授（‘96年卒）へ委嘱。

2. ‘23年度活動方針

- (1) 創部100周年事業の完遂
 - ・7/9 記念式典・祝賀会の開催
 - ・秋 クラブルームの完成
 - ・秋 記念誌の発行
 - ・寄付金募集は目標額（1,500万円）達成へ努力
- (2) 現役チーム強化支援
 - ・FWコーチ（神戸製鋼ラグビー部OB山内氏）招へいとスクラム強化
 - ・怪我防止のためトレーナー派遣（渡辺整骨院）
 - ・ウインドブレイカー購入支援
 - ・新人勧誘（アドバイザーの起用、資金増）
- (3) 次の100年に向けた取り組み
 - ・組織の見直し検討
 - ・財政強化
 - ・現役部員増強支援、チーム強化

以 上



2022年度神戸大学ラグビー部結果

[結果]:

日付	対戦校	スコア	会場	備考
3/26/22	vs大教大	● 5-35	@鶴見緑地第二球技場	練習試合、30分ハーフ、Gポスト無し
5/22/22	Vs京大	○ 21-0	@阪大吹田G	練習試合、40分ハーフ前半のみ
"	vs大阪大	● 0-36	@阪大吹田G	練習試合、40分ハーフ後半のみ
7/21/22	vs大教大	● 15-30	@ヤマフイルド長居	練習試合、40分ハーフ、Gポスト無し
8/19/22	vs北里大	○ 114-0	@夏合宿・菅平G	練習試合、40分ハーフ
8/21/22	vs 東京都立大	○ 50-7	@夏合宿・菅平G	練習試合、40分ハーフ?
"	vs甲南大	● 7-25	@夏合宿・菅平G	練習試合、30分ハーフ
6/22/22	vs大阪公立大	○ 33-19	@大阪公立大G	三商大戦
12/17/22	vs一橋大	● 14-24	@神戸大深江G	三商大戦
9/18/22	vs追手門学院大	● 15-38	@追手門学院大学G	B2リーグ
9/25/22	vs 大教大	● 5-36	@大体大G	"
10/9/22	vs 龍谷大	● 0-41	@四条畷総合運動公園	"
10/16/22	vs 大産大	● 10-42	@京都大学宇治G	"
10/30/22	vs 大工大	● 棄権	@甲南大G	" コロナ感染者発生
11/19/22	vs 花園大	● 15-42	@宝ヶ池総合球戯場G	Bリーグ順位決定戦
11/27/22	vs 大阪経済大	○ 14-12	@大体大G	" 1勝6敗 11位
12/11/22	vs 大阪学院大	○ 30-17	@阪大吹田G	B・Cリーグ入替戦 Bリーグ残留



23年度神戸大学ラグビー部強化方向性(案)

今季目標: 上位リーグ進出 (Bリーグ・ベスト3)

1. 部員数増数:

- 新入学生の勧誘: 目標20名 (4/24現在～ 男子7名+復帰1名、女子1名)
 - 新勧メディアの充実～ビラ、新勧Twitter、新勧Instagramの作成、HPの更新
 - 新勧会(例4/22 於深江)、新勧祭(例4/30 於六甲台)、新勧食事会の実施
 - 大学教務課新入学生資料への勧誘資料の同封と配布、他。* [課題]場所が深江
- 部員卒業高校ラグビー部へアプローチ: 勧誘レター送付、訪問活動、深江見学
- 有力高校の発掘:

2. FWの体重増強+スクラム強化: 1) 山内スクラムコーチの招聘、2) 若手FW OBの指導、3) WPPT

3. フットレス (パワーと持久力) 向上: 1) トレーニング環境(機器と場所)の充実、2) トレーナー-招請

4. 怪我・故障の最小化: 怪我&故障予防知識の周知徹底と実施 ～ 専門家の指導

5. 全メンバー知の底上げ:

- ラグビー初心者 (未経験者) の基礎レベルの向上、常識、定石の体得
- 神戸大学ラグビー部に最適な戦術・戦略・練習方法の立案・習得・実践:
- データ&映像&写真・図解による試合の分析と結果のフィードバック:

6. 良質な練習環境・練習環境の提供:

- 天然芝グラウンドの整備、
- 合同練習機会増 ～例: 芦屋クラブ (3/5, 4/23)、三菱電機(3/35)、甲南大(毎水曜)
- 定期戦機会増

7. OB/現役の緊密なコミュニケーション: 例) 定期面着会議とZoom会議の実施



神戸大学ラグビー部 (KURFC) ブランドの確立

[中長期]:

● 継続的新入部員の確保

- 現役卒業高校との連携継続
 - コンタクト (レター送付、訪問等) を実施し、卒業生を紹介頂く。
 - 近隣有力高校定期戦の深江グラウンドへの勧誘 (例: 7/16 兵庫vs天王寺)
 - 外部有カラグビー関係者活用による勧誘活動 (例: 岡田父氏)

- 定期戦の充実: 1. 国内、2. 海外
- 対関西大学ラグビー協会及び他大学とのコミュニケーション能力の強化

● 現役指導体制の充実と継続:

- 部長: 青井貴之 (神戸大学 医学部教授、神戸~H8卒)
- Hコーチ: 大石嶺 (神戸製鋼、流通経大OB)~戦術・戦術・練習方法立案と指導
- スクラムコーチ: 山内雅延 (神戸製鋼、トップ、法政大OB)~スクラム指導
- コーチ: 小松規秀 (カネカ、四条寮~S54卒)~HCサポート、データ&映像解析、現役指導
- 強化委員: 中本和夫 (日建設計OB、北野~S57卒)~コーチ陣サポートと現役指導
- 監督: 森岡礼次 (兵庫県立夢野台高校教諭、同校ラグビー部顧問兼務、夢野台~H01卒)
- GM: 磯江憲夫 (The Estée Lauder Companies, Inc., 兵庫~S53卒)

- 4 回生就職支援: 上級生就職支援活動も神大ラグビー部ブランド力向上の一環。

- OB会会費支払い率の更なる向上: 金銭的支援の充実

● 環境整備

- クラブルーム&トレーニングルーム建設(於深江キャンパス)
- ホームページの充実

- 2023年7月9日100周年記念と、次期100年 (200周年記念) に備えて

- Aリーグ復帰、大学選手権出場、花園or秩父宮で商神斉唱

2022 年度リーグ戦の総括およびチーム強化課題

現役強化支援チーム

1. 戦績/得失点分析

表1に2022年度Bリーグ(1次リーグおよび順位決定トーナメント)の各大学の戦績と得失点平均値の一覧を示す。不戦の2試合(神戸大 vs 大工大、大体大 vs 甲南大)は除く。

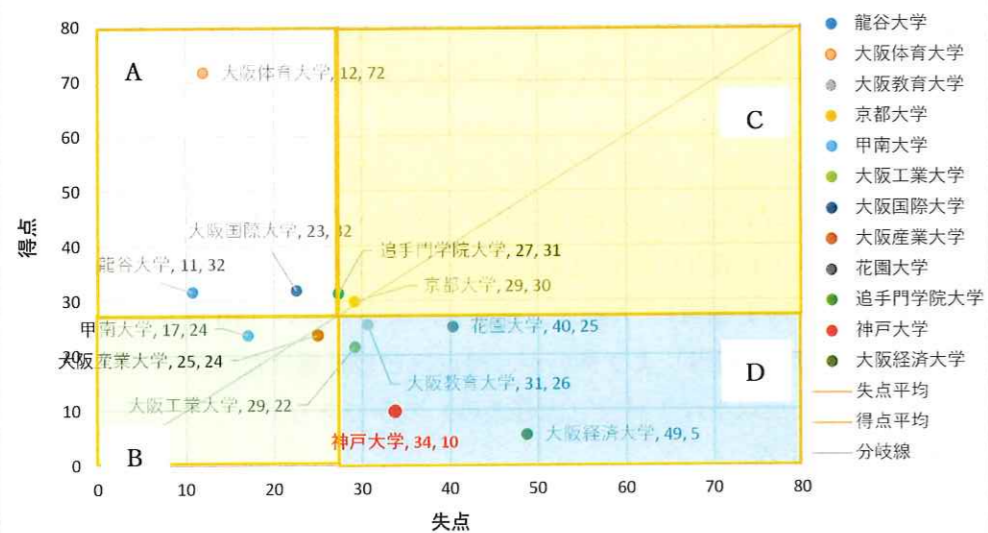
Graph1に各大学の得点と失点の相関、Graph2に各大学の前後半の得失点平均を示す。

表1 大学別の得失点一覧

順位	得点平均値			失点平均値			得失点差平均値			勝敗				
	得点	得点 (前半)	得点 (後半)	失点	失点 (前半)	失点 (後半)	得失点差	得失点差 (前半)	得失点差 (後半)	勝	負	引分		
1	龍谷大学	32	16	16	11	6	5	21	10	11	7	0	0	
2	大阪体育大学	72	36	36	12	3	9	60	32	27	5	1	0	
3	大阪教育大学	26	10	16	31	14	17	-5	-4	-1	4	3	0	
4	京都大学	30	15	15	29	14	16	1	1	-1	3	3	1	
5	甲南大学	24	12	12	17	7	10	7	5	2	4	2	0	
6	大阪工業大学	22	14	7	29	10	19	-8	4	-12	2	3	1	
7	大阪国際大学	32	15	17	23	12	11	9	3	6	4	1	2	
8	大阪産業大学	24	11	12	25	14	11	-1	-2	1	3	4	0	
9	花園大学	25	8	17	40	24	16	-15	-16	1	3	4	0	
10	追手門学院大学	31	13	18	27	15	12	4	-2	6	2	5	0	
11	神戸大学	10	6	4	34	11	23	-24	-5	-19	1	5	0	
12	大阪経済大学	5	3	2	49	24	25	-43	-21	-22	0	7	0	
	平均	27	13	13	27	13	13				0	38	38	4

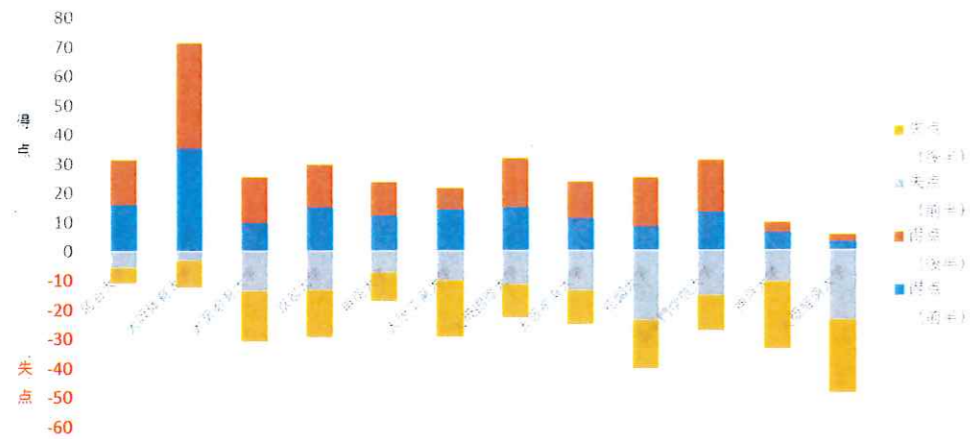
注) 色分け 得点 平均以上 失点 平均以下

Graph1 2022年度 大学比較 (得失点平均)



- (注) 1. 各大学得失点は次のように表記する。大学名,失点,得点
 2. リーグ全試合の得点および失点平均を基準に、4領域(A~D)に分類。

Graph2 大学別前後半得失点 (Per Match)



(1) Bリーグでの位置付け

- ・上位2校（龍谷大、大體大）の力が抜けている。両校ともにA領域であり、失点が10点強と断然少ない。得点に関しては、大體大は圧倒的に高いが、龍谷大は平均より少し上のレベル。しかし両校の対戦では、龍谷大が接戦を制した。
- ・D領域である下位3チーム（神戸大、花園大、大阪経済大）を除く7チームは、Graph1の中央付近に集まり、勝敗表を見ても力が接近していることがわかる。
- ・甲南大（B領域）は失点が少ない（17点）。得点は花園大とほぼ同じであるが、失点は断然少なく、これが両チームの順位差となっている。甲南大は例年失点が少ない。
- ・3位の大教大は、順位決定戦の大體大戦の大敗（10:94）の影響によりD領域であるが、後半に得点が多く、接戦を勝ち切っている。
- ・神戸大と大経大は、他の10チームと比べて得点が少ない。
- ・追手門大はA領域であるが、接戦で競り負けていることが多く、10位に留まる。FWの力はあるが、ディフェンスが機能していなかったと感じた。

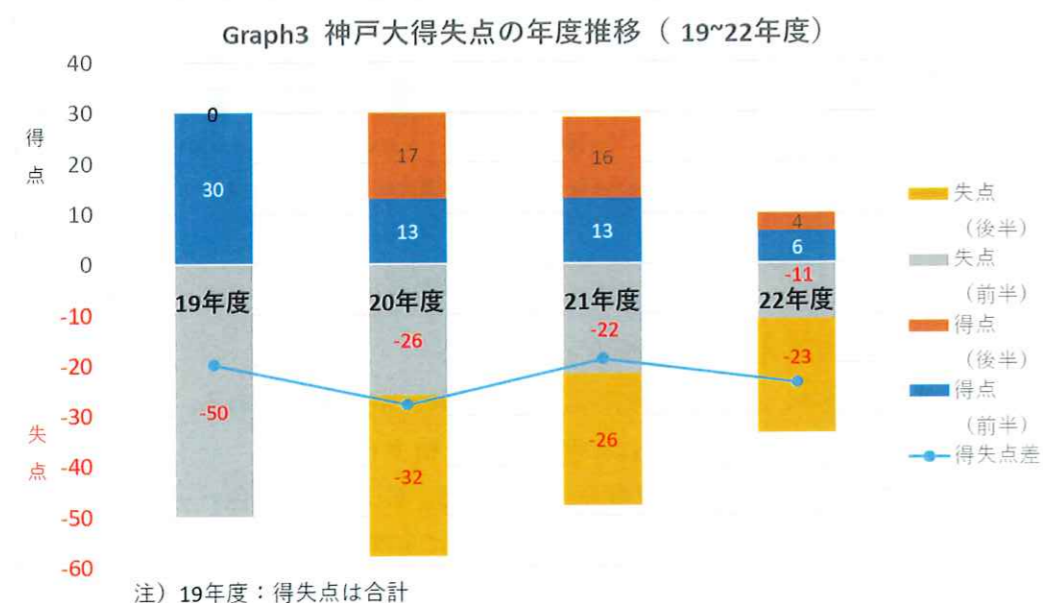
(2) 神戸大の得失点データ

- ・得点は試合平均10（1.7T相当）。大経大に次いで少ない（11位）。全試合平均得点27（4.5T相当）の半分以下であり、大経大以外の10校との差が大きい。
- ・失点は試合平均34（5.7T相当）。大経大、花園大に次いで多い（10位）。全試合平均失点27（4.5T相当）より多いが、得点ほどの乖離はない。ただし、全試合平均失点以下は1試合（大経大戦）のみである。
- ・前半と後半とで評価する。
前半では、得点6に対して失点は11であり、全試合前半失点平均13より少ない。龍谷大戦以外5試合はリードまたは接戦となっている。
しかし、後半では、得点4に対して失点は23。後半開始早々にトライされて、逆転や引き離された試合が多かった。

(3) 神戸大得失点の年度推移

Graph3 に神戸大学の得失点の年度推移を示す。

- ・得点は、19~21年度は約30点とほぼ横ばいであったが、22年度は大きく減少(10点)。
- ・失点は、19~21年度は約50点前後であったが、22年度は大きく減少(34点)。特に前半は、失点が少なく接戦に持ち込んでいる。これは前年度から良くなった点である。
- ・20,21年度は前半に失点が多くリードされ、後半追い上げるが届かずの試合が多かった。



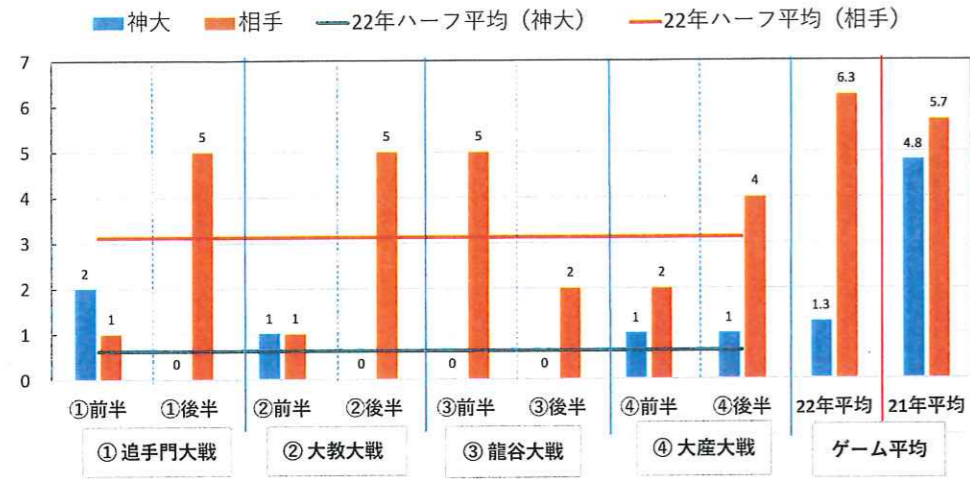
2. スタッツ分析

22年度リーグ戦1次リーグ4試合のスタッツを分析した。項目は、トライ数、ボール支配率、地域支配率、獲得ゲイン(ラン、キック)、スクラム、ラインアウト、ハンドリングエラー、ペナルティなど。本報では、一例としてトライ数およびボール支配率/地域支配率を紹介する。

(1) ゲーム別の得失トライ数

- ・1試合での平均トライ数は神戸大1.3、相手6.3。
- ・1試合のトライ数は追手門大戦と大産大戦の2トライが一番多い。
後半はほとんどトライが奪えず、大産大戦の1トライのみ。
- ・龍谷大戦以外の3試合では、前半は相手を1 or 2トライに抑えており、接戦となっている。
しかし、後半になると、連続してトライを奪われて引き離されている。

Graph4 トライ

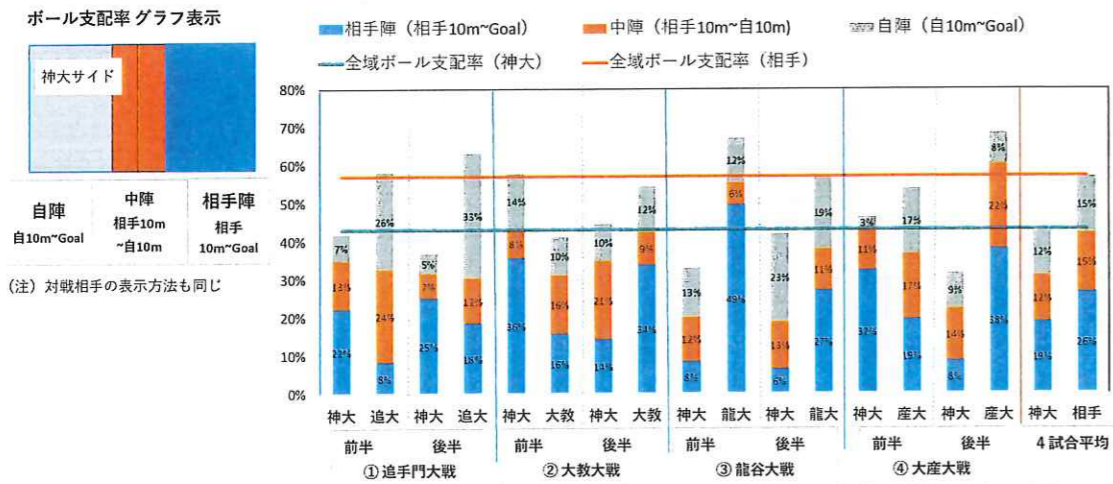


(2) ボール支配率

Graph5 に各試合前後半のボール支配率を示す。

- ・全域でのボール支配率は、4試合平均では、神大 43%、相手 57%である。
前半は、神大 45%、相手 55%、後半は、神大 39%、相手 61%。
- ・攻撃優位性を示す相手陣でのボール支配率に注目する。Graph5 の青色バー。
前半では、③龍谷大戦 (神 8% : 龍 49%) は圧倒的に劣勢であるが、他の3試合では、神大が優勢である。①追手門大戦 (神 22% : 追 8%)、②大教大戦 (神 36% : 教 16%)、④大産大戦 (神 32% : 産 19%)。
後半になると、①追手門大戦 (神 25% : 追 18%) は引き続き優勢であるが、②大教大戦 (神 14% : 教 34%)、④大産大戦 (神 8% : 産 38%) では劣勢となった。

Graph5 ボール支配率



(3) 地域支配率

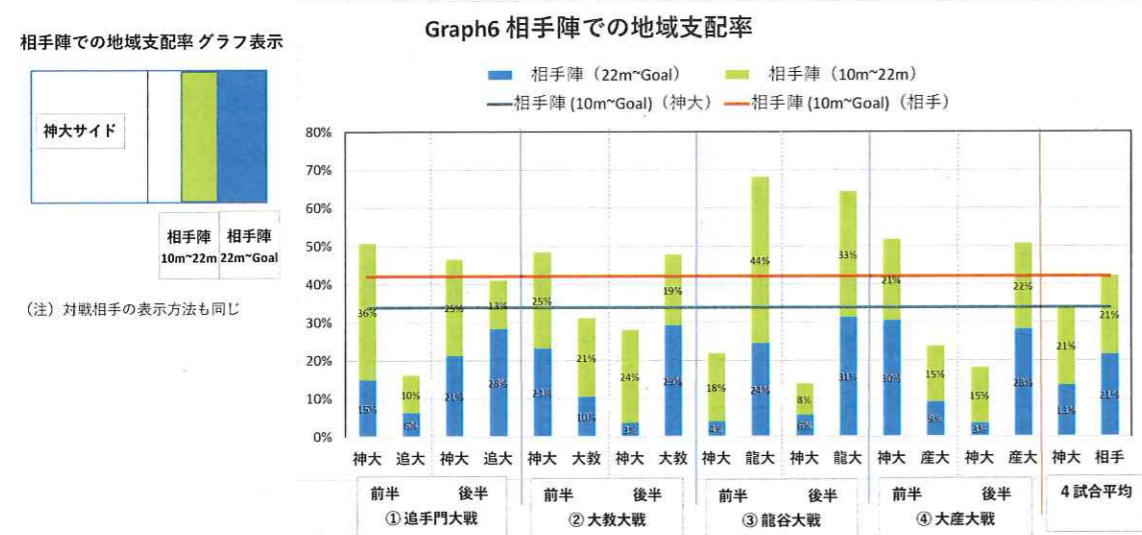
Graph6 に各試合前後半の相手陣での地域支配率を示す。相手陣での地域支配率（相手10m~Goal）は、相手22m~Goal（青色バー）と相手10m~22m（緑色バー）の合計。

- ・相手陣での地域支配率の4試合平均は、神大34%、相手42%である。前半では、神大43%、相手35%、後半では、神大27%、相手51%。
- ・前半では、③龍谷大戦（神22%：龍68%）は圧倒的に劣勢であるが、それ以外の3試合は神大が優勢である。①追手門大戦（神51%：追16%）、②大教大戦（神48%：教31%）、④大産大戦（神52%：産24%）。

チャンスである相手陣22m内の地域支配率（青色バー）でも3試合とも優勢である。

- ・後半になると、②大教大戦（神28%：教48%）、④大産大戦（神18%：産51%）では劣勢となった。

相手陣22m内の地域支配率も3試合とも劣勢となり、特に大教大戦と大産大戦は3%しかなく、ほとんど攻め込めていないことを示している。



3. 昨年度リーグ戦の総括

- ・前半は対等以上に戦えている。試合の準備ができており、持てる力を出し切れている。これは、ボール支配率/地域支配率、獲得ゲインなどに表れている。

前半は体力的に余裕があるので得点差が付きにくいですが、決定力が不足していたこと、また肝心なところで、ラインアウトのミス、ハンドリングエラーやペナルティでチャンスを逃したことが多かった。

- ・後半になると、FW、特にスクラム、また個々人のフィジカルの差がでて劣勢になり、失点につながった。特に、勝負処のラスト20分で相手に対抗できていない。ボール支配率や地域支配率、獲得ゲインだけでなく、ブレイクダウン、ハンドリングエラーやペナルティの回数などに表れている。

体力差やスクラムの劣勢などがボディブローとして効いているのは確かであり、後半息切れしないようにフィジカルの強化が課題である。

- ・4年間を比較すると、得点は大幅に少ないが、失点も少なくなっている。ディフェンスはよくなってきており、大石コーチも評価している。

4. チーム強化課題と支援策の実施状況

チームの強化課題、それに対する支援策の実施状況を以下に述べる。

- ・スクラム強化が今年度の一番の課題である。他校とのスクラム力の差は大きい。勝敗に大きく影響するだけでなく、重大な怪我の危険性もある。FW 第1列が少ないことも課題。

(強化策①)

- ・FW コーチに神戸製鋼 OB の山内氏を招へいする。

(OB 会からの大石コーチに依頼、それに応えて山内氏を推薦してくれた)

- ・合同練習(甲南大、阪大、芦屋 C など)を増やして、スクラムを組む回数を増やす。
- ・上位校とは、攻守ともに接点の強さに差がある。私立大学とは体格差があるが、それを補うために、走力も含めてフィジカルを鍛えて、練習で低く鋭い当たりやタックルを身に付けて欲しい。体格や部員数が似通っている大教大や甲南大が見本になる。

Bリーグでも私立大はフィジカルトレーニング環境が整備されている大学が多い。それに対して、神大はトレーニング環境が深江Gにはなく、多くの部員は個人でトレーニングジムと契約している状況である。

(強化策②)

- ・トレーニング機材の追加購入、100周年記念事業の新設クラブルームにトレーニングエリアを設けるなど、いつでもトレーニングできる環境を整備しつつある。
- ・外部のフィジカルトレーナー派遣の導入。今年度はスポット(数回)で試行して効果を確認する。来年度本格導入の計画。

- ・昨年度は練習や試合で怪我人が多く出て、満足なメンバーが組めない試合が多かった。体のメンテナンス、および練習前後のウォーミングアップやクーリングダウンをチームとして取り組んで欲しい。

(強化策③)

- ・チーム練習としてウォーミングアップやクーリングダウンに取り組んでいる。
- ・フィットネスの強化(強化策②)。

- ・現役チームはデータ分析班をつくって、試合やプレイの動画を分析してミーティング等チームで共有化して、戦略検討や技術レベルアップに活用している。

(強化策④)

- ・現役のデータ分析に協力して、ゲームのスタッツ分析、スクラムなどの画像解析を行い、現役や指導陣にフィードバックする。新たに動画解析支援アプリを作成、提供する。

以上

2022～2023 年の活動報告 (22 年 5 月から 23 年 4 月現在まで)

- ・2022 年 5 月 18 日に 3 年ぶりに東京支部総会を開催。リアル (14 名) とオンライン (13 名) のハイブリッド型にて実施。20～21 年度の活動報告と収支報告、22 年度の活動計画、OB 会費納入率アップの取組 等を参加者の皆様に説明するとともに、田中会長・坂下副会長・磯江 GM からは現役の現状と育成方向、100 周年記念事業の方針 等を説明いただいた。
- ・東京支部として力を入れているのは、OB 会費の納入促進活動であり、あらためて 22 年 2 月頃から東西の地区にこだわらず、平成年代の全学年幹事に直接アプローチを実施。
(先日いただいた 22 年度本部収支報告によると、OB 会費実績は 3,427 千円と予算より 227 千円上回ったとのことで、全てが本活動の成果ではないものの、相応の効果はあったものと思料。)
- ・6 月 13 日 東京支部幹部会にて、OB 会費納入促進運動の進捗状況を確認し、当座の方針を検討。100 周年記念事業に向けての寄付募集の推進を控えていることから、過度な追っかけはせず、来たるべき時に備え、ネットワークの維持に努めることとした。
- ・9 月 16 日 大阪で開催の 100 周年記念行事検討会に、東京六甲クラブより東京支部幹部会メンバーが ZOOM にて参加。
- ・10 月 13 日 東京支部幹部会にて、100 周年記念事業に向けて東京支部としての活動方針につき打ち合わせ。
- ・11 月 7 日 東京地区在住の新入社会人 (令和 3 年・4 年卒) の 3 名を迎えて、東京支部歓迎会を開催。
- ・11 月 14 日 田中会長、坂下副会長にお越しいただいて、東京支部の重鎮 OB への状況報告のためのミニ OB 会を開催し、現役強化のためのアドバイスをいただくとともに、100 周年記念事業の内容につき、ご理解を得た。
- ・23 年 1 月 11 日 東京支部幹部会にて、100 周年記念事業に向けての具体的活動として、平成卒のリーダー候補を集めて、ミニ決起会を開催することを決定。
- ・2 月 7 日 平成卒のリーダー候補を集め、ミニ決起会を開催。彼らに積極的協力をお願いをし、協力に向けての意思を確認。同日、かなりの人数の若手 OB らが LINE で繋がっているという事実が判明したことから、その輪を広げるべく、上の年代も参加できるグループを新たに作成。本日現在、150 人以上の OB が繋がっている状況。今後、様々な情報発信に活用したい。
- ・4 月 3 日 東京支部幹部会にて、2023 年度東京支部総会の日程と開催方法につき協議。後日、開催日を 5 月 29 日(月)とし、18 時から総会、19 時から懇親会としてリアル開催することに決定。

以上

卒業年度	S27	S28	S29	S30	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	小計
卒業生(マネージャー含む)	1	1	1	3	0	1	0	0	4	3	2	16
OB会費納入者(2021年度)	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3	6
OB会費納入者(2022年度)	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	2	6
芝生化寄付金納入者	2	4	2	3	2	2	2	1	2	0	3	23

卒業年度	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	小計
卒業生(マネージャー含む)	4	1	1	3	3	11	4	2	2	3	3	37
OB会費納入者(2021年度)	0	0	1	1	1	9	4	0	2	1	2	21
OB会費納入者(2022年度)	0	0	1	1	1	9	4	0	2	1	2	21
芝生化寄付金納入者	6	2	1	4	3	12	3	5	1	8	4	49

友人3人含

卒業年度	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	小計
卒業生(マネージャー含む)	2	4	6	9	9	6	9	13	12	13	12	95
OB会費納入者(2021年度)	1	4	3	7	6	5	4	11	9	6	6	62
OB会費納入者(2022年度)	2	3	3	7	6	5	5	12	6	8	7	64
芝生化寄付金納入者	1	5	6	7	6	6	7	11	6	9	5	69

卒業年度	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	小計
卒業生(マネージャー含む)	15	8	16	19	21	15	23	12	15	26	15	185
OB会費納入者(2021年度)	4	7	10	12	8	11	14	5	4	11	9	95
OB会費納入者(2022年度)	3	6	12	12	9	11	13	2	5	14	10	97
芝生化寄付金納入者	8	2	8	12	8	7	9	2	2	0	4	62

卒業年度	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	小計
卒業生(マネージャー含む)	21	18	18	9	14	11	11	8	3	17	10	140
OB会費納入者(2021年度)	7	4	11	4	2	3	5	1	0	5	4	46
OB会費納入者(2022年度)	7	4	10	4	1	4	4	1	2	6	4	47
芝生化寄付金納入者	3	0	1	1	0	3	0	1	0	8	1	18

卒業年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	小計
卒業生(マネージャー含む)	14	13	16	8	9	6	5	6	8	13	13	111
OB会費納入者(2021年度)	8	5	1	0	1	1	3	1	0	5	2	27
OB会費納入者(2022年度)	9	5	1	3	1	1	3	1	2	5	2	33
芝生化寄付金納入者	7	1	2	0	1	1	2	1	5	4	11	35

卒業年度	H30	R1	R2	R3	R4	小計
卒業生(マネージャー含む)	8	10	12	10	15	55
OB会費納入者(2021年度)	0	2	5	2	0	9
OB会費納入者(2022年度)	2	2	6	3	7	20
芝生化寄付金納入者	0	0	0	0	0	0
合計	639					
	266					
	288					
	256					

<OB 会費の納付分析と今後の課題>

(1) OB 会費納付合計金額の推移

OB 会員総数: 639 名

2021 年度 OB 会費納付者総数:266 名 → 2022 年度 OB 会費納付者総数:288 名(+22 名)

2022 年度 OB 会費納付者比率: 45.1%

芝生化寄付金納付者総数: 256 名

322.8 万円/2021 年度 → 345.7 万円/2022 年度(+22.9 万円)

(2) 年代別納付者数

	S27～S39	S40～S49	S50～S63	H1～H11	H12～R4
対象者数	21	34	151	193	240
2021 年度納付者数	6	22	94	88	56
2022 年度納付者数	6	23	95	89	75
2022 年度納付者比率	28.6%	67.6%	62.9%	46.1%	31.3%
芝生化寄付金納付者数	31	42	98	37	48

- ① S27 卒～S49 卒の OB の方の対象者数は多くないものの、長年に亘り OB 会費を納付していただいていることに対して大変感謝している。特に、S40 卒～S49 卒の OB の方の納付者比率は 67.6%と非常に高い数字となっている。ただし、今後 S27 卒～S49 卒の OB 会員の会費納付者数の減少が懸念される中において、H1 卒以降、その中でも特に H12 卒以降の会費の納付者数を如何に増やしていくことができるかという点が今後の課題となってくる。
- ② 2021 年度から 2022 年度にかけて OB 会費納付者数が 22 名増えているが、この 22 名の内 19 名が H12 卒以降の年代の増加となっている。この内 2 名以上の増加となっている卒業年度は H16、H22、H27、H30、R4 である。H12 卒以降の納付者の絶対数はまだ多くはないものの、徐々に納付者数が増えており、この点 OB 会活動に対する意識が少しずつ上がってきていることが伺える。
- ③ 今後は H12 卒以降を中心とした平成卒の OB の方々の OB 会活動への積極的な参画が望まれる。その為には、平成卒の OB の方々が参画しやすい環境・雰囲気作りも大切になってくる。東京支部の報告にもある通り、現在平成後半卒の OB を中心に 170 人の OB が LINE で繋がっており、今後この繋がりを有効に活かすことのできる方策を検討の上、早く実行に移して行く必要がある。

以上

2022年度 収支決算書

2022年4月1日～2023年3月31日

項目	実績	予算	差異	備考	(参考)	
					前年度実績	前年度予算
1 前年度繰越	2,051,798	2,051,798	0	内、現預金 1,874,318円	1,761,607	1,761,607
2 会費	3,505,000	3,200,000	305,000	12,000円/口、寄付含む	3,136,000	3,000,000
3 理事会等参加者会費	0	0	0		0	0
4 雑収入	10,485	20,000	-9,515	ネクタイ・エンブレム販売益・利息	1,908	20,000
5 芝生化関連予算繰入		0	0			0
6 会費前受金	-92,000	0	-92,000	前期入金6名分、今期会費へ振替	92,000	0
収入計	5,475,283	5,271,798	203,485		4,991,515	4,781,607

2022年4月1日～2023年3月31日

項目	実績	予算	差異	備考	(参考)	
					前年度実績	前年度予算
1 現役補助	993,374	900,000	93,374	合宿差入れ含む	936,530	900,000
2 現役ユニフォーム購入	0	0	0		247,500	180,000
3 三商大戦+東京海洋大戦+定期戦補助	0	0	0		0	50,000
4 総会運営費	0	40,000	-40,000		0	40,000
5 監督活動費補助	98,620	100,000	-1,380	交通費等	60,100	200,000
6 コーチ交通費、謝礼	473,322	500,000	-26,678	月4万円ほか	380,230	500,000
7 新入部員獲得費補助	397,757	400,000	-2,243		220,446	300,000
8 クラブ運営費	495,438	100,000	395,438	事務局費用・会議費	440,153	250,000
9 会報作成費	209,445	80,000	129,445	凌霜ラガー通信印刷費等	188,044	150,000
10 自動振込手数料等	56,045	50,000	6,045	振込費用、引落し費用等	52,063	45,000
11 OBチーム活動費	0	0	0			0
12 東京支部運営費	100,000	100,000	0	総会費等	100,000	100,000
13 100周年記念事業準備費	340,539	300,000	40,539			100,000
14 予備費	135,906	500,000	-364,094	京大・一橋大100周年祝金他	56,765	100,000
15 芝生化関連経費	-65,266	0	-65,266			0
16 OB理事活動費	0	100,000	-100,000	打合せ費他	57,886	200,000
17 定期戦等補助(前期に前渡し)	0	0	0	三商大戦+東京海洋大戦+定期戦補助	200,000	0
18 次期繰越	2,240,103	2,101,798	138,305	下記資産残高参照	2,051,798	1,666,607
支出・次期繰越し計	5,475,283	5,271,798	203,485		4,991,515	4,781,607

2023年3月31日現在

項目	資産残高 (次期繰越内訳)			備考
	2023.3.31	期首	増減	
三菱UFJ銀行	1,314,866	1,342,665	-27,799	
三井住友銀行	70,019	248,801	-178,782	
ゆうちょ銀行	565,242	279,976	285,266	本会計口座499,976+芝生化委員会口座65,266。
現金	2,876	2,876	0	
ネクタイ	160,380	3,240	157,140	@1782 90本←2本
エンブレム	126,720	174,240	-47,520	@3960 32個←44個
本会計 資産合計	2,240,103	2,051,798	188,305	

会計 山形 輝雄 (昭和52年卒)

神戸大学ラグビー部OB会の会計関係につき監査いたしましたところ、正確に処理されており収支決算および資産残高は適正で相違ないことを認めます。

2023年4月19日

監事 森内 敏晴 (昭和56年卒)
監事 植木 心一 (昭和63年卒)

<深江グラウンド芝生化事業収支総括>

(千円)

⑦

収 入	金額	支 出	金額
(2017/4~2020/3)			
OB寄付(医学部OBを含む)	43,754	第1期芝生化工事(阪神園芸)	23,976
兵庫県まちなみ緑化助成金(1期分)	5,000	第2期芝生化工事(阪神園芸)	15,984
兵庫県まちなみ緑化助成金(2期分)	1,855	2018年水道代	4,063
		芝刈り機(クボタ)	1,230
		芝生植付作業他	1,389
(小計)	50,609	(小計)	46,642
(2020/4~2022/3)			
OB寄付	5,530	維持管理費(阪神園芸、軽油代他)	2,144
(小計)	56,139	(小計)	48,786
(2022/4~2023/3)			
OB寄付	95	維持管理費(阪神園芸、軽油代他)*	2,010
(合計)	56,234	(合計)	50,796

2023/3末繰越残高

5,438

*2022/4~の大口支出

2023/6エアレーション作業等の補修 693

2023/1雨水管清掃 473

2022年度決算報告及び2023年度予算案

(1) 22年度決算報告

- ・収入はOB会費納入が増え、対予算203千円の増。
- ・現役活動が正常に戻り、加えてビデオカメラ購入、リーグワン観戦費などの要望に応じたことから現役活動補助支出が1,963千円となった。また、OB会運営関係は100周年機縁事業の準備関連業務が増えたことから、支出合計では対予算125千円の増。
- ・単年度収支は129千円の黒字となり、23年度への繰越額は2,181千円となった。

(2) 23年度予算案

- ① 収入は会費増収活動の効果が出ており、昨年度並みを見込む。
- ② 支出は新たな現役活動補助として、継続的に支援する必要のある項目を追加。(フィジカルトレーナー契約試行、FWコーチ追加、新入部員勧誘アドバイザー起用)
- ③ 単年度収支はイーブンを基本とするも、秋冬用ウインドブレイカーを21~22年度の黒字を活用して購入。その結果、単年度収支はその分支出超過となり、370千円の赤字を見込む。

23年度予算案

費目	19年度実績	20年度実績	21年度実績 ②	22年度予算 ③	対21年度実績 ③-②	考え方	22年度実績 ④	対予算 ④-③	差異(単位:千円)
収入									
前年度繰越	503,980	836,107	1,761,607	2,051,798	290,191		2,051,798	0	
会費	2,987,000	3,038,000	3,136,000	3,200,000	64,000	会費増収活動による増額を織り込む	3,505,000	305,000	会費増収活動効果
理事会など参加者会費		130,000			0		0	0	
雑収入	19,541	2,796	1,908	20,000	18,092		10,485	-9,515	
芝生化関連予算繰入れ					0		0	0	
会費前受金			92,000				-92,000	-92,000	
単年度収入	3,006,541	3,170,796	3,229,908	3,220,000	-9,908		3,423,485	203,485	
合計	3,510,521	4,006,903	4,991,515	5,271,798	280,283		5,475,283	203,485	

23年度案 ⑤	対22年度見込み ⑤-④	考え方
2,180,579	128,781	
3,300,000	-205,000	前年並み
20,000	9,515	
	0	
	92,000	
3,320,000	-103,485	
	0	
5,500,579	25,296	

費目	19年度実績	20年度実績	21年度実績 ②	22年度予算 ③	対21年度実績 ③-②	考え方(現役からの要望を含む)	22年度見込み ④	対予算 ④-③	差異(単位:千円)
支出									
現役補助	800,000	988,578	936,530	900,000	-36,530	ビデオ購入(100千円)を含む	993,374	93,374	定例補助(800)各宿差 入れ(94)ビデオ購入 (99)
現役支援追加							0	0	
現役ユニフォーム購入	0	0	247,500	0	-247,500	今年度は不要	0	0	
三商大など定期戦補助	200,000	285,400	0	0	0	21年度前渡金を充当	0	0	
監督活動費補助	88,660	40,520	60,100	100,000	39,900	フルシーズン活動前提	98,620	-1,380	予算通り
コーチ交通費、謝礼	603,580	259,954	380,230	500,000	119,770	"	473,322	-26,678	同
新入部員獲得費補助 (現役活動補助計)	301,046	134,520	220,446	400,000	179,554	リーグワン観戦(150千円)を含む	397,757	-2,243	同
	1,993,286	1,708,972	1,844,806	1,900,000	55,194		1,963,073	63,073	
総会運営費	73,000	0	0	40,000	40,000	開催前提(会場費など)	27,560	-12,440	
クラブ運営費	172,536	147,120	440,153	100,000	-340,153	凌霜クラブ契約解除(-132千円)	414,778	314,778	会議費(273)、HP/パソコン (118)
会報作成費	163,126	163,258	188,044	80,000	-108,044	HP活用による印刷費、郵送料半減	209,445	129,445	23/2月発行費用を加算
自動振り込み手数料など	45,260	51,293	52,063	50,000	-2,063	例年並み	56,045	6,045	
OBチーム活動費	0	0	0	0	0		0	0	
東京支部運営費	50,000	100,000	100,000	100,000	0		100,000	0	
100周年記念事業準備費	0	0	0	300,000	300,000	設計費、記念品試作費、会議費など加算	340,539	40,539	寄付金趣意書(含む郵 送料)など事務経費
予備費	116,788	74,653	56,765	500,000	443,235	花園G使用料、製氷機購入などに対応。	130,164	-369,836	寄付金趣意書(含む郵 送料)など事務経費
芝生化関連経費	418	0	0	0	0		0	0	一橋大、京大100周年祝 金(50X2)
OB理事活動費	60,000	0	57,886	100,000	42,114	4回生慰労会(23年3月予定)	53,100	-46,900	4回生慰労会(2月)
定期戦など補助前渡金			200,000	0	-200,000		0	0	
単年度支出	2,674,414	2,245,296	2,939,717	3,170,000	430,283		3,294,704	124,704	
翌年度繰り越し	836,107	1,761,607	2,051,798	2,101,798	50,000	ネクタイ100本製作予定(200千円)	2,180,579	78,781	
合計	3,510,521	4,006,903	4,991,515	5,271,798	280,283		5,475,283	203,485	
単年度収支	332,127	925,500	290,191	50,000	-240,191		128,781	78,781	

23年度案 ⑤	対22年度見込み ⑤-④	考え方
800,000	-193,374	
50,000	50,000	フィジカルトレーナー契約試行
400,000	400,000	秋冬用ウインドブレイカー(40着)
200,000	200,000	(前年度は前受金扱い)
100,000	1,380	
700,000	226,678	FWコーチ追加
500,000	102,243	岡田氏のアドバイザー起用
2,750,000	786,927	
40,000	12,440	
300,000	-114,778	HPパソコンなし
50,000	-159,445	会報の電子化
50,000	-6,045	
0	0	
100,000	0	
150,000	-190,539	23年度限り
150,000	19,836	
0	0	
100,000	46,900	4回生慰労会(24年3月予定)
0	0	
3,690,000	395,296	
1,810,579	-370,000	
5,500,579	25,296	
-370,000	-498,781	

「創部100周年記念事業準備状況」

事業名	準備状況	残作業	進捗率	担当
クラブルーム建設	・OB会側が提出した計画案について、大学側で内装工事、設備工事および什器類購入等について検討中。	・大学側との協議（次回は4月28日） ・大学側と全体コストを見極めながら仕様調整 ・OB会コーナーのコンテンツの決定 ・工事の発注（具体的な発注作業は芝生化と同様で大学側の所掌） ⇒大学基金へ工事代金相当額を振込めば工事が開始	60%	中本(S57卒)
式典・祝賀会	・式典および祝賀会の会場使用申請⇒完了 ・後援会講師への依頼と講演内容の詰め⇒完了 ・式典会場の機器操作習熟⇒完了 ・来賓選定と招待状送付⇒近日完了 ・式次第骨子⇒決定 ・祝辞依頼⇒近日完了 ・オープニングアクト出演者⇒決定 ・東京会場の使用場所の確保⇒完了	・OB出席者の把握 ・式典の式次第と舞台構成の確定、シナリオおよび司会者原稿の作成 ・式典でのスライドショーの作成 ・山中教授からのビデオメッセージの手配および撮影 ・式典関係の準備品の調達 ・祝賀会の構成の確定、シナリオおよび司会者原稿の作成 ・前日の準備作業と当日の作業人員の確定 ・役割分担の明確化と進捗状況の監督 ・来賓輸送手段の確定 ・深江グラウンドへのバスツアー（祝賀会后）の可否を大学側へ確認 ⇒可能な場合はバスの手配 ・東京会場へのWEB配信（式典のみ）の確認テスト	45%	天知(S57卒)
記念品	・OBへの記念品の高級ピンバッジの仕様⇒決定 ・OBへの記念品のマフラータオルの仕様⇒決定 ・来賓への記念品（お土産）のお菓子と紙袋の仕様⇒決定	・高級ピンバッジの数量確定と発注業務 ・マフラータオルの数量確定と発注業務 ・お菓子と紙袋の数量確定と発注業務	90%	有明(S57卒)
記念誌	・OBからの寄稿、写真・資料を受付中（2次締め切り～4/30） ・4/19現在の平成以降卒業のOBからの寄稿は、16/36学年（メール3回+ラガー通信での依頼結果） ・入手済み原稿の一次校正（～4/30） ・記念誌名称「神戸大学ラグビー部創部100周年記念誌」⇒決定 ・表紙デザイン準備中（S51卒OB） ・記念誌構成案の作成 ・作業工程表の作成	・平成以降卒業で無反応の学年への寄稿働きかけ（特に直近25年間の卒業OB） ・外部関係者（定期戦校等）への寄稿依頼 ・戦績表、歴代幹部表、100周年事業実績原稿の作成 ・写真準備（定期戦トロフィ、ユニフォーム、グラウンド等） ・記念誌名称のサブタイトルの決定 ・記念誌構成（目次）の決定 ・新聞記事入手と二次利用申請 ・賛助金の集まり状況を見て印刷業者と協議 ・式典、祝賀会の写真準備 ・業者へのデータ出し ・旧商船大に関する記述の確認	15%	遠藤(S60卒)

100周年事業寄附金納金状況について

単位：特に指定のないものは円

集計期間 2023年3月1日から4月21日まで

目標金額 15,000,000

100周年事業控除予定目標 2,500,000

ゆうちょ			備考
寄附件数	43		
納金額(A)	4,624,000		

三井住友			備考
寄附件数	38		
納金額(B)	4,204,000		

総計		達成率	備考
延べ件数	81		
実件数※	79		※2名の方が複数回納金
納金額総計 (C)=(A)+(B)	8,828,000	58.9%	達成率は対1500万円
100周年事業控除予定額 総計(D)=※×7000	553,000	22.1%	達成率は対250万円
神戸大学基金 納付予定額総計(E)	8,275,000		(C)-(D)

納付者出身校	ゆうちょ	三井住友	備考
神戸大学	42	35	重複納付2名あり (79件)
神戸大学医学部	0	0	
旧商船大学	0	1	定兼顧問
神戸大学マネージャーOG	0	1	ムラヤマさん
保護者・家族等	0	0	
人数計	42	37	

2023年4月22日 19:00

100周年事業会計担当 藤井貞男



注

- 1.納金目標1500万円に対し 6,172,000 不足。@7万としてあと90人弱。
 2.事業控除目標250万円に対し 1,947,000 不足。@7千としてあと280人弱。

2023年4月29日
事務局

事務局からのお知らせ

- (1) 神戸大学ラグビー部ホームページの更新が終了しました。
・以下の URL からアクセスできます。
【ホームページ URL : koberfc-offical.com 】
- (2) OB 会ページ :
・(1)の目次の中に OB 会ページがあります。OB 会ページの内容をご覧頂くにはパスワードが必要です。
【パスワード : ryosorugger2023 】
このパスワードは年度ごとに変更します。来年度以降は変更の都度、お知らせします。
・OB 会会員名簿についてはセキュリティーを勘案し、このホームページには掲載せず、関係者による厳格な管理を行うこととします。
- (3) OB 会会員名簿の更新
・住所、電話番号、メールアドレスなど名簿内容に変更のある場合は随時、事務局にご連絡下さい。
- (4) OB 会事務局連絡先
・〒662-0051 西宮市羽衣町 7-32-509 板垣自宅
電話: 080-9543-0441
メールアドレス: kobe.u.rfc.ob@gmail.com または itagaki@mikunikinzoku.jp

以 上